

ROTARY CLUB OF NAGOYA MEINAN 2013-2014 WEEKLY REPORT

ロータリーを
実践し



みんなに
豊かな人生を

名古屋名南ロータリークラブ

■承認 / 1991年3月8日 ■例会日 / 火曜日・PM6:30 ■例会場 / 名古屋マリオットアソシアホテル
■会長 / 白藤 憲雄 ■幹事 / 本多 利郎 ■会報・雑誌・広報委員長 / 安藤 修
■事務局 / 〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号 名古屋マリオットアソシアホテル 2202号
TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054

URL <http://www.meinan-rotary.com> E-mail info@meinan-rotary.com

2013-14年度 国際ロータリー会長 ロンD.バートン

第1072回

2013年11月26日(火) 晴 第20回

～ロータリー財団月間～

斉唱 我等の生業
出席 会員55名(出席率算入人数47名)
出席39名 出席率82.98%
前々回補填率98.04%(11月12日分)

会長あいさつ

会長 白藤 憲雄さん

皆さま、こんばんは。先々週、
休みをいただきまして年に1回
行っているゴールドコーストへ今
年も行って参りました。ありが
とございます。

最近是非常に開発が進んでお
り、街の中に電車を走らせるた
めの工事をしていました。

今回はカンガルーを見ながらゴルフをやったか
つたので、友人に聞いて行ってきました。「カンガ
ルーが居るかなあ」と思って9ホール回ってずっと
待っても全く出てきてくれませんでした。開発が進
んでいるので森の奥は住宅が沢山建っていて、もう
見られないかと思っていたら5～6匹のカンガルーと
出会うことができました。

今は開発が進んでいるので、近い将来ハワイと同
じようになると思うのですが、毎回行って思うのは
物価も安く、人柄も優しいので非常にのんびりと出
来るのではないかと思います。

以上、会長あいさつとさせていただきます。



幹事報告

幹事 本多 利郎さん

1. 来週12月3日に年次クラブ総会がございます。時
間は18時30分からです。その前に17時30分から理
事会が行われます。関係者の皆さまは17階「パ
イン」の間へお越しください。
2. フィリピンの台風30号での被害があり義援金を募
集しておりましたが、なかなかご協力いただけ
ていない状況です。本日、例会中に募金箱を回さ
せていただきますので是非ご協力の程、宜しくお願
い致します。

ニコボックス

◆三島クラブ奉仕委員長の卓話楽しみにしていま
す。

佐々木 暢さん 川村 繁生さん 榎原 和美さん
伊藤 圭一さん 牧野 好弘さん 野々村憲吾さん
細井 俊男さん 田子 充浩さん 田中 一雄さん
朝比美和子さん 安藤 修さん 三島多恵子さん
入谷 直行さん 中西 芳子さん 宮崎 良一さん
木下 福郎さん 久米 伸治さん 大橋さなえさん
浅井 浩さん 加藤 英敏さん 新原 尚さん
川辺 清次さん 白藤 憲雄さん 本多 利郎さん
大平 明子さん 出田真太郎さん 長尾 浅吉さん
犬飼りさ枝さん 三浦 隆さん 中村 勝さん
有川 英敏さん 武藤 正行さん

本日合計 36,000円 累計 599,000円

委員会報告

■国際奉仕委員会 委員長 久米 伸治さん
皆さま、こんばんは。2760地区の国際委員会から
案内が来まして、地区のプロジェクトとしてベトナム
のドンホイに幼稚園宿舍を寄贈して3月に贈呈式
を行うそうです。会長、幹事、国際奉仕委員長と声
がかかっていますが、皆さまにもご出席いただきたい
と思いますので、ご興味のある方は私又は事務局
へお問い合わせください。

期間は3月4日から7日です。申し込み締め切りは
12月20日となっていますので残り1ヶ月もなくな
っております。その点踏まえて宜しくお願い致しま
す。

アンチエイジングエクササイズ

中村 勝さん

委員会担当卓話

■クラブ奉仕委員会 委員長 三島多恵子さん
皆さま、こんばんは。クラブ奉
仕委員会の担当卓話の三島でござ
います。本来ですと地区増強リー
ダーの小山さんが理路整然と素晴
らしいお話をされることになっ
ていたのですが、残念なことに逝去
されましたのでご冥福をお祈りし
たいと思います。



クラブ奉仕というのは会報・雑誌・広報、会場運営プログラム、ニコと出席、親睦活動家族委員会がグループ委員会なのですが、これはクラブの中の会員さんに奉仕する内なる奉仕です。どのようにしているかという、例会の運営をスムーズにする、また皆さまの親睦を深めるというのが目標でこの委員会は成り立っているのです。運営や例会が上手くいけば、経済事情や社会情勢は別として退会を防止することができるのではないかと委員会の考えです。

例会がスムーズに行くためにはどうしたらいいのかというと、私の個人的見解と意見ですが“絆”と“思いやり”でおもてなしの精神があれば全てのことが上手くいくのではないかと考えています。私が何故20数年名南RCでお世話になっているかと考えると、私にとって居心地が良いのだと思います。

本当は20数年前に入会した時には、知り合いもおりませんでしたし、ロータリーの事も右も左も分からなかったもので、初めは「場違いなところに入ってしまったのではないかと後悔し、入ってすぐに辞めるわけにもいかないので「なるようにしかならない」と思っていました、ある時先輩のロータリアンの方から「ロータリーというのは労働だ」とお聞きしました。それが単細胞の私にとっては気が休まるというか、ちょっとホッとした感じがありました。そのお陰で何とかやってこれたというもありますし、ニコボックスでは皆さまの顔と名前が覚えられたことが良かったのだと思います。これは新人にとってはすごく大事なことで、ニコボックスの時に皆さまが手をかけてくださるか引っ張ってくださるので段々と凶々しさが出てきたのか「ニコボックスが足りません。もう少しニコボックスで集金してください。」と委員長に言われた時に、皆さまが声をかけてくださったお陰で目と目が合ったらお願いしたり、忘年家族会の時に寄付を呼びかけたりしました。今はお見えにならないのですが、恒川さんや朝日さん達に「馬券を買うぐらいならここで1万円ぐらい寄付して」とご迷惑だったでしょうが言いたい放題言えたということは、皆さまが1歩ずつ1歩ずつ思いやりを持って手を引いてくださったから私にとって居心地の良いクラブになったのだと思います。

最近、米山のカウンセラーをやっているお陰でリンさんを見ていますと彼女は名南RCに溶け込もうと努力しています。彼女を見ていてやはり輪の中に入る為には自らも努力しなければいけないのは当然なのですが、でも自ら進んで入れるというのはやはり諸先輩方の思いやりの精神だと思います。「ちょっと声をかけてあげようかな」とか「緊張しているだろうからお茶でも誘ってあげようかな」という心がとても大事だと思います。そういう気持ちで皆さまが近しくあったら溶け込むのも早いと思います。

創立当初は東南RCの真似から始まり、いかに名南RCを作るか、ロータリーって何だろうと考え、夫人同伴例会やファミリーコンペがあり家族の皆さまと一緒に過ごす時も結構ありました。逆に、全然存じ上げない会員の方の奥様とたまたま先輩後輩であったり同じ話題があったりすると、その奥様を通して会員の方をより深く知る機会になるので、私としては予算も掛かるかもしれませんが楽しいことだったのでやりくりしながら今後そういう機会も設けられ

たらいいなあと思います。

私の言いたいことは、奉仕は大事ですが親睦が一番大事ではないかと思うので、裃付きの例会も必要ではありますが通常の例会は裃のない例会でやっていただけるのがいいのではないかと考えています。私もロータリーに入って色々愚痴を言ったり相談したり楽しい話をしたり…と楽しかったからこそ続けてこれたと思っています。

ゆったり例会等ありますが、たまにはただ単にダベリングしたり雑談したりしてお互いの親睦を深め、そういう時に同好会のお誘いをしたり各委員会の打ち合わせをしたりすればいいのではないかと考えています。皆さま、自分の私生活でも友人は大切にしたいから思いやりとおもてなしの心を持っていると思います。それをロータリーに置き換えて、気軽に声を掛け合えられる雰囲気になることが良い事だと思います。

ポール・ハリス・フェローが何故ロータリーを作ったかと言うと、「良い友達が欲しかった」とこの一言に尽きると思います。会社も違えば業種も違う、うちのような弱小企業もあれば大きな会社の方もいらっしゃると思います。全く立場も違うかもしれませんが、一国一城の主として責任をもってやっていらっしゃる立場に於いては同じ事なので、色々な意見も聞けるし色々な悩みも相談できることはロータリーにとって良い事だと思います。

四大奉仕とは別の話かもしれませんが、クラブ奉仕としては『いかに例会を楽しく過ごしていただくか』が一番大事なことはないかと考えています。皆さまが若い方々の会員増強に努めていただくと有難いと私は思っています。私の話はこれで終わらせていただきたいと思っています。どうもありがとうございました。

第 1074 回例会 (12月 10日) のご案内

会員卓話

会長エレクト 吉木 邦男さん